

第1回発達障害医療機関ネットワーク構築のための支援者研修実施要領

発達障害支援の歩みに敬意を表して

ロボット・AIがもたらす次世代支援の可能性

広島県では、発達障害の適切な医療体制を確保するため、専門医とかかりつけ医や支援者との連携体制（多職種連携、多機関連携など）を構築することを目指し、平成30年度より「発達障害医療機関ネットワーク構築事業」を実施しています。

今回は、児童精神医学、地域精神医学、精神科患者の嗅覚特性、精神科患者へのテクノロジーを用いた支援がご専門の熊崎博一先生にご講演いただきます。ロボットやAIが発達障害児・者の支援にどう活用されるのか？世界でも先駆けて行われている取り組みなどをお聞きしたいと思います。また、後半にはグループディスカッションも予定しております。発達障害児・者の支援に携わる方々のご参加を心よりお待ち申し上げます。

●講師

熊崎 博一先生

長崎大学医学部精神神経学主任教授

長崎大学病院精神科神経科診療科長



〈現在関わっておられる主なプロジェクト〉

ムーンショット型研究開発事業「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」、CREST：「納得感のある人間-AI協調意思決定を目指す信頼インタラクションデザインの基盤構築と社会浸透」、

学術変革領域（A）：「自閉スペクトラム症児の感覚処理特性評価研究から探る深奥質感認識個人差の解明」

新学術領域（研究領域提案型）：「精神科外来のための対人恐怖症患者への診察支援ロボットの開発」

未来社会創造「数理的社会的行動能力の発達を促進するAIエージェントシステムの開発」

〈近年の受賞歴〉

令和6年度「Best Paper Awards COGNITIVE'2024」、

人工知能学会 言語・音声理解と対話処理研究会（SIG-SLUD）優秀賞、AIVR 2024. Best Paper Award 受賞

●司会 松田病院 児童精神科医 洲濱 裕典 先生

●日時 令和7年6月29日（日）10:00～13:00 ※9:30 受付開始

●会場 広島市総合福祉センター（BIG FRONT ひろしま）5階ホールABC
（広島市南区松原町5番1号）

●定員 120名（先着順）

●対象者 県内の発達障害児（者）等を支援する関係支援機関（医療、教育、福祉、司法）

●参加費 無料

●申込み方法

以下の URL または QR コードから申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

URL: <https://forms.gle/PiAeGoWdZaXnESLr5>

【必要事項】

- ① 氏名(ふりがな) ② 職種
- ③ 所属機関(所属機関の住所) ④ 電話番号(当日連絡可能なもの)
- ⑤ メールアドレス



●申し込み期限 令和 7 年 6 月 15 日(日)

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます

●プログラム(予定)	9:30 ~ 10:00	受付
	10:00 ~ 11:30	開会・講演
	11:30 ~ 12:10	グループディスカッション
	12:10 ~ 13:00	発表・閉会



●主催 広島県、医療法人翠星会 松田病院

【問い合わせ先】 医療法人翠星会 松田病院 担当: 医療相談科 金丸
電話 082-253-1245(平日 8:30~17:00)
メール matsuda105@matsuda4137.or.jp